

2022 春季生活闘争セミナーを開催 労働法制の動きと労使の課題について理解を深める

連合東京は毎年、春季生活闘争にあたり、連合方針について理解を深めるとともに、労使交渉の参考として活用いただけるセミナーを開催しています。今年も12月8日(水)に、セミナーとパネルディスカッションの2部構成で開催しました。

前半は、連合総合政策推進局の仁平局長より「2022 春季生活闘争を臨むにあたって」のテーマで、連合方針のポイントを中心に説明があり、続いて東京大学の水町勇一郎教授より「2021年から2022年へー労働法制の動きと労使の課題ー」のテーマで講演をいただきました。毎年のように改正・施行される労働法制について、改正のポイントが整理され、取り組みの参考になったとアンケートでも好評でした。

後半は、連合東京の斉藤事務局長がコーディネーターとなり、講師の水町教授、仁平局長に加え、中小・労働条件委員会の反町委員長（運輸労連東京）と森副委員長（JAM 東京千葉）をパネリストに、パネルディスカッションを行いました。前半の講演内容を深堀するとともに、オンライン参加者からの質問もリアルタイムにパネリストに答えていただきました。

一方的になりがちな講演のスタイルとは異なる、双方向のやり取りで、労使交渉のポイントを聞くことができたと思います。連合東京は、今後も時宜にかなったテーマで、開催方法も工夫しながらセミナーを企画していきます。